

クリニカルバイオバンク・データベース の現状と将来展望

関西地域部会・バイオメディカル研究会では、創薬・臨床応用を見据えた最先端研究をテーマに知的交流の場を提供しております。今回は「クリニカルバイオバンク・データベースの現状と将来展望」と題し、現状・課題・取組みについてご紹介いただくと共に、創薬応用への展望について議論していただきます。

- 【開催日】 平成29年3月11日（土）13:30～17:00
【会場】 グランフロント大阪 タワーC 9F（Vislab）
<https://cb-lab.jp/access.html/about.php>
【主催】 日本バイオインフォマティクス学会・関西地域部会
【共催】 公益財団法人都市活力研究所
【後援】 大阪府、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、
NPO法人バイオグリッドセンター関西（予定）

- 【参加費】 無料、（懇親会：2,000円/人）
【定員】 参加予定人数100名程度、交流会45名程度
【申込み】 <http://www.urban-ii.or.jp>

【プログラム】

- 13:30 開会挨拶 荒木通啓（関西地域部会長・神戸大学）
13:35 講演1「遺伝子関連検査と医療ビッグデータ：その現状と将来展望」
松下一之 先生（千葉大学）
13:50 講演2「ゲノム医療を切り拓くクリニカルバイオバンク」
西原 広史 先生（北海道大学）
14:05 講演3「岡大バイオバンクの取り組み：日本の創薬を元気にする」
森田 瑞樹 先生（岡山大学）
14:20 講演4「生活習慣と連動した腸内細菌叢の形成と健康科学への新展開」
國澤 純 先生（医薬基盤・健康・栄養研究所）
14:35 講演5「バイオバンク活用にむけた業界での取り組み」
赤塚 浩之 先生（田辺三菱製薬）
14:50 休憩
15:00 パネルディスカッション（バイオバンク・データベースの現状課題と将来展望）
（パネリスト）

AMED（バイオバンク事業部・部長 加藤氏）、METI（生物化学産業課・産業分析研究官 新階氏）
MEXT（ライフサイエンス課・課長 原氏）、松下先生、西原先生、森田先生、國澤先生、赤塚先生
坂田先生（阪大）、奥野先生（京大）、白井先生（長浜バイオ大）、松本先生（大日本住友製薬）

- 17:00 閉会挨拶
17:30 懇親会（公益財団法人都市活力研究所セミナー室 同ビル 7階）
19:00 終了
【お問い合わせ】

